

国立健康危機管理研究機構国際医療協力局では、グローバルヘルスの実践を経験できる 1 年間の「国際医療協力局フェロー」プログラムの参加者を募集します

※応募締切 2026 年 10 月 7 日

プログラムの概要

国際保健医療協力分野では、感染症や母子保健中心から循環器系疾患やがんなどの非感染性疾患への疾病構造の変化、高齢化のように人口構成の変化がおこっています。また、温暖化やデジタル技術の進歩に伴う生活環境の変化など人々の健康に影響を与える要因も多様化しており、より幅広い専門性が求められるようになっていきます。本プログラムはこうした変化に対応し、様々な国際保健医療課題について対応できるグローバルな視点を持った医師を養成することを目的としています。

研修内容と到達目標

研修内容: 国際医療協力局における国内外の業務を通して、国際保健医療の基礎的な知識の整理、低中所得国における保健医療の現状や課題についての理解を深めます。

到達目標: 医師として今後のキャリアビルディングに関する具体的展望を持つことを目標にします。

プログラム内容

研修期間は 2027 年(令和 9 年)4 月 1 日から 2028 年(令和 10 年)3 月 31 日までの 1 年間です。プログラム参加者は国際医療協力局に在籍し、国際医療協力局が主催する各種研修の受講や実施の補佐、局が関与している海外の技術協力プロジェクトや国際会議等に参加し国際医療協力の現場を体験してもらいます。

国際医療協力局での活動(例)

国内

- 国際医療協力局実施の研修および外部研修の参加

- 外国人対象研修実施
- 日本人対象研修実施
- 研究・学会、発表・参加

国外

- 低中所得国での各種プロジェクトなどで業務を経験
- 低中所得国での調査・研究への参加
- 国際学会・国際会議への参加

対象者

本プログラムの対象者は、以下の要件を満たす医師です。

- 基本領域専門研修を修了し、卒後 5 年以上を経過していること
- 専門医資格を取得済み、または取得予定であること
- 国際保健医療・グローバルヘルスに強い関心と高い意欲を有すること
- 海外での活動に必要な外国語能力(英語)を有していること
 - 英語力の目安:TOEIC 640 点以上、または TOEFL iBT 61 点以上(PBT 500 点、CBT 173 点に相当)
 - 応募時にスコアを証明する書類を提出すること

国際医療協力局フェローの身分、処遇

身分

特殊法人常勤職員(任期付き)

待遇

当機構のフェロー基本給に準ずる 基本給 509,000 円(別途 規定に基づき超過勤務手当、通勤手当等の支給あり)

福利厚生

保険:社会保険(健康保険、厚生年金)、雇用保険の適用あり

住居:教育研修棟(個室、冷暖房完備)があるが、臨床研修医の入居希望を優先するため、要望

に沿えない場合があります。

※フェローの身分・処遇については、今後、一部変更となる可能性があります。

応募方法

以下の書類を提出して下さい。

1. 履歴書(当機構指定用紙 [添付 1](#)、本人自筆、写真貼付)
2. 医師免許証の写し(A4 判に縮小コピーすること)
3. 臨床研修修了証の写し(病院発行のもの)・臨床研修修了登録証の写し(厚労省発行のもの)のどちらか一方
4. 語学能力試験の結果を証明する書類(英語の場合 TOEIC640 点以上、または TOEFL iBT61 点(PBT500 点, CBT173 点)以上。語学能力試験各 1 件ごとに A4 片面 1 枚のコピーとすること)
5. 国際保健医療協力分野小論文課題(当センター指定用紙 [添付 2](#))
6. 研修内容調査票(当センター指定用紙 [添付 3](#))

※5～6 の書類は選考に使用されます。

※書類はホチキス止めしないこと。

応募書類提出先

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

国立健康危機管理研究機構

国際医療協力局 研修課 宛

※封筒表面に「国際医療協力局 フェロー応募書類」と朱書きし、簡易書留とする

応募締切

2026 年 10 月 7 日 17 時必着

面接等の選考日程は応募者に追って連絡します。

問い合わせ先

国際医療協力局研修課

メール: kensyuka@jihs.go.jp

電話: 03-3202-7181 内線(2738)

応募をご検討中の方でご希望がある場合は、面談による相談や施設見学も可能です。
ご希望の方は、上記までお問合せ下さい。

※参考資料として、過去の報告書をご覧いただけます。是非ご参照ください。

<https://kyokuhp.jihs.go.jp/library/kensyu/index.html>